

市政刷新

2013年 夏号
発行者／福岡市議会議員 調崇史 (民主・市民クラブ)



5月1日より、早良消防団城南分団に入団しました。地域防災の重要な担い手となる消防団の一員として心身ともに鍛錬を積んでいきたいと思ひます。
福岡市議会議員 調たかし

すぐ動く！よく働く！調たかし 福岡市議会議員(城南区)

議会活動！ 福岡市のこども施策に疑問を呈す

■「風営法ゾーン」に保育園整備
テレビや新聞による報道に端を発した中央保育園の移転問題については、地域の皆さまからも「市は一体何を考えとのか！」とお叱りの声を頂いています。事業を進める「こども未来局」は私が所属する第2委員会が所管する局ですが、問題の予定地の購入予算はこの春の予算議会で承認した経緯もあり、一議人として十分なチェック機能を果たし得なかったことを率直に反省しています。



職責を果たすため、6月議会の第2委員会の審議において、予算説明の際に示された情報が極めて不十分であったことや、当局があまり表に出さずに事を運ぼうとしていた姿勢が結果として大きなハレーションを生

んだことを指摘して、猛省を促しました。
今回、テレビや新聞など複数のメディアがこの問題を報じた背景には、中央保育園の移転予定地の選定にあたって政治的な関与を疑う声があがっていることがあります。風営法エリアの真ん中に保育園を作ろうということでは、普通感覚を持った市の職員ならまず発想しないことではないでしょうか。
待機児童の解消は言うまでもなく喫緊の課題です。しかし、移転用地の周辺環境はおろか、他の候補地の価格すら調査しなかった今回の進め方の異常さは見逃せません。慎重姿勢で臨みたいと思ひます。



6月13日 西日本新聞(朝刊)

■商業施設を間借りする「青少年科学館」
中央区舞鶴の少年科学文化会館は、福岡市青少年科学館(仮称)として中央区六本松の九大六本松キャンパス跡地に移転再整備されます。この基本構想の策定にあたって、所管する「こども未来局」の示す事業規模が説明を受けるたびに小さくなっていくことに、子育て世代の一人として強い疑問を抱いています。
昨年までに説明を受けた当初の構想では、「アジアからの観光客も立寄る誘客施設」という大きな夢を掲げており、最も参考になる名古屋市の科学館を議員と当局で視察しました。ところが昨年の秋以降、当初は六本松キャンパス跡地の1万平米を市が単独で購入して整備する方針だったものが、5千平米へと半分になり、構想の中身からも「アジアからの観光客」といった夢のある話が消えました。そして、今年に入ってからは「民間が建てる商業施設に科学館が賃借入居する方式を最優先で検討したい」というように話が当初の半分以下になってしまいました。
構想がこのような経過をたどったのは「財政論」の影響です。財政が厳しい中において、費用を抑えた整備手法を考えるべきだという役所内の圧力に、科学館の構想が敗北したのだと感じます。一方で、賃借入居方式の検討では、賃料を安く抑えるために、1、2階に入居する商業施設の中を通らなければ3階以上に

入居する科学館にたどり着けないという、情けなくなるような構想を当局が描いています。委員会審議で私は「**科学館単独の動線を確保できない限り、賃借入居方式には同意できない**」という意見を述べました。
科学館の一つの重要な役割は子どもたちの理科離れに歯止めをかけることであり、これは即ち子どもたちの未来を思って取り組むべき課題です。財政論を振りかざすばかりでは将来に大きな禍根を残す科学館になりかねません。寸土も譲らない覚悟で頑張ろうと思ひます。



委員会審議で示されたフロアマップ。科学館は3階より上に入居する構想。

地域活動！ 商店街振興に取り組んでいます！！

私の政務調査事務所である「調たかし市政相談所」は、昨年12月から花みずき通り商店会の一角に移転しました。事務所の転居を契機に、以前から意欲を持っていた商店街振興の仕事に取り組んでいます。
今年2月の補正予算で、国が全国で100億円規模にのぼる商店街助成事業を打ち出しました。これは商店街の活力アップに繋がるイベント等の実施費用を全額補助する内容でした。この補助金獲得に向けた情報収集や事業計画の作成に、商店会の



役員の方と協力して取り組み、一定の成果を挙げることができました。
高齢化の進展に伴って「買い物難民」という言葉が生まれる中、地域と密着した商店街が果たすべき役割が見直されています。地域全体を見渡した時に、花みずき通り商店会の位置づけは極めて重要で、加盟店舗数増加による「拡大」と、新しいアイデア・手法による「活性化」に取り組んでいくことが今後の地域づくりのために必要であると考えています。
国の補助を受ける事業は7月中旬以降に本格始動します。花みずき通り商店会の若手の方々とともに汗をかきながら、一夏をかけて商店街振興に打ち込んでみたいと思ひます。



地域商店街活性化事業実施要項
地域商店街活性化事業助成金交付規程

クローズアップ 《城南見守るっ隊》で孤独死を減らそう！

近年、社会問題として取り上げられている社会的孤立等への対策として、福岡市ではモデル地域に地域福祉ソーシャルワーカーを派遣し、地域とともに課題把握や見守り体制の仕組みづくりに取り組んでいます。
その一環として、城南区内のモデル地域である城南校区と金山団地町内会において、住民が、孤立死の危険性があるお宅に気づいた場合に通報し、専門性を持ったNPO法人が通報を受けての対応を行う《城南見守るっ隊》の取り組みが始まりました。
「洗濯物が干したままになっている…」など、地域住民のちょっとした気づき、NPO法人の柔軟性や即効力、その双方を調整し関係機



関との連携を図る地域福祉ソーシャルワーカー(城南区社会福祉協議会職員)など、この取り組みは孤立死の未然防止や早期発見のために連携して取り組む協働プロジェクトです。365日、24時間体制で通報を受け付ける体制は孤立死対策の取り組みとしては異例で、注目すべきテストケースとなりそうです。
この取り組みに賛同した住民《城南見守るっ隊》には緊急連絡先が記載されたカードとバッジが現在、約600名の協力者に配布されており、通報への協力をお願いしています。



「城南見守るっ隊」のPRバッジとカードを手にする地域福祉ソーシャルワーカーの吉村美穂さん

地域から孤立死を減らす取り組みの輪がさらに広がることを期待したいと思います。

福博そらつく日記

博多港の「大金星」

博多港が5月にロサンゼルスで開かれた国際港湾協会(IAPH)総会で、港湾環境賞の金賞を受賞しました。国際港湾協会は世界80ヶ国、180の港湾が加盟するNGO団体で、アムステルダム、上海(日本国内からは横浜、川崎、神戸港など多数)など、世界の錚々たる港湾が名を連ねます。日本の港湾としては初となる快挙であり、市の港湾局でもかなりの驚きを持って受け止めたようです。残念ながら、メディアの扱いは小さく、市民の皆さまにはあまり知られていないニュースかも知れません。
聞いてみれば、コンテナを荷揚げするガントリークレーンを陸上電源から供給する電動方式とすることで、CO2の排出を74パーセント、エネルギーコストを68パーセントも下げたことなど、幾つかの設備面での工夫が高い評価を受けたとのこと。
世界が認めたクリーンな港は、地元経済にとっても国際物流拠点として日々存在感を増しています。福岡市や我が国の将来に大きな利益をもたらす港となることを期待し、一筆報告致します。

調崇史プロフィール

1978年 4月17日生 35歳

- 1978年 ● 福岡市生まれ
- 1991年 ● 七隈小学校卒業
- 1994年 ● 梅林中学校卒業
- 1997年 ● 修猷館高校卒業
- 2002年 ● 九州大学法学部卒業
- 2010年 ● TNCテレビ西日本入社
- 2010年 ● 同社退社
- 2011年 ● 福岡市議選初当選

現在、金山団地在住 妻と3女

www.t-shirabe.net/

調たかし 市政相談所

ぜひ、お立ち寄りください
〒814-0131
福岡市城南区松山2-5-5
志のぶビル201号
※市営地下鉄 金山駅から徒歩3分
七隈本町バス停から徒歩1分
TEL:092-834-9984
FAX:092-834-9983
mail:info@t-shirabe.net

ツイッター・フェイスブックなどと運動したサイトで、日々の活動の様子を紹介しています。また、オフィシャルサイトからは市政に対するご意見を送れます。皆様の声聞かせて下さい！

調たかし 検索